



貴船だより

令和6年2月29日発行第12号

大田区立大森第一小学校

校長 鈴木 伸作

—健康で安全な生活ができる子—おもいやりがあり仲よく助け合う子—自ら考え行動する子—

学校HP もご覧ください。 <http://academic2.plala.or.jp/omr1-e/>

「海苔付け体験」「学校公開」 「道徳授業地区公開講座」について

副校長 神戸 大石

「海苔付け体験」

海苔付け体験では、地域からゲストティーチャーとして来校された方々に丁寧にご指導いただき、子どもたちの目は輝き、とても喜んでいました。私自身も体験させていただき、感動しました。事前にご準備をしてくださったPTAの皆様方、感謝いたします。

「学校公開」

2月2日(金)、3日(土)に学校公開・道徳授業地区公開講座がありました。学校公開では、授業を通して子どもたちの活躍する場面が多くあったかと思えます。学校公開のアンケートでは、タブレットからの電子データでのご回答にご協力いただきありがとうございます。いただいたご意見を次年度の学校公開に活かしていきたいと思えます。

「道徳授業地区公開講座」

2018年度から道徳が「特別の教科 道徳」として教科として全面実施され、およそ5年間が経過しました。命の大切さや、いじめ防止等、様々な教育課題の背景から教科化されました。道徳教育の核となる道徳の時間では、45分間の中で、自ら考えたことや感じたことを中心に過去の体験を振り返り、自分の心と向き合う時間です。また、「友達はどうのように考えているのか」や「私の考えと同じだった」、「友達は～なことを考えているんだ」という新たな発見をし、考えを共有し、これからの生き方を共に考えていく時間です。

道徳授業地区公開講座の道徳授業の公開では、「善悪の判断 自律 自由と責任」や「個性の伸長」、「希望と勇気、努力と強い意志」等、道徳的価値(内容項目)について、それぞれのクラスでじっくりと考え、友達との話し合いの中でお互いを知る機会にもなったと思えます。また、道徳授業地区公開講座の講演会では、大田区立馬込第三小学校の指導教諭である小林 沙友里先生をお招きして、「家庭・地域と連携した道徳教育」を演題にして講演をいただきました。「家庭や地域でのどのような場面でのかわりが道徳的価値(内容項目)の話につながっているのか」や「実際にご自身が大森地区を歩いて感じたこと」等のお話をいただきました。参加した方より「もっと聞きたかった」と感想が出るほど素晴らしい内容でした。次年度の道徳授業地区公開講座講演会では、ぜひ、より一層のご参加をお待ちしています。

春休みの過ごし方

生活指導主任 岩本 瞬

春休みは一年間の成長を振り返るとともに新しい学校生活や学年を迎えるための重要な時期です。今年度は、交通ルールや自転車の乗り方(ヘルメットの着用)、公共施設の使い方やSNSの活用方法(インターネットとの関わり方)について各学年で指導しました。また、心配事や悩みがある時は誰かに相談することも学年に応じた話をしました。「春休みのしおり」(後日配布)や「困ったときの相談窓口」もご参照いただき、お子さんが楽しんで楽しい春休みを過ごせるよう、ご家庭でも見守ってください。

日	曜日	3月行事予定 ()数字は学年	放課後遊び
1	金	衛生チェック 読書タイム	
2	土		
3	日		
4	月	ありがとうキャンペーン 全校朝会 委員会活動(4年代表・5・6)	
5	火	体育朝会(1・2) 遠足(6) 補習教室	○
6	水	体育朝会(3・4) 下校指導(1)	
7	木	体育朝会(5・6) 補習教室	
8	金	安全指導 読書タイム	○
9	土	土曜授業 土曜補習	
10	日		
11	月	一校一取組 全校朝会 通常4時間(1) 5時間(2~6)	
12	火	音楽朝会 補習教室	○
13	水	誕生会給食	
14	木	補習教室	
15	金	記名タイム 読書タイム	
16	土		
17	日		
18	月	全校朝会 特別時程4時間(1~4) 6時間(5・6) 卒業式予行(5・6)	
19	火	補習教室	
20	水	春分の日	
21	木	大掃除 給食終 卒業式前日準備(5)	
22	金	卒業式(5・6) ※1~4年登校なし	
23	土		
24	日		
25	月	修了式 通常4時間(1~5)	
日	曜日	4月行事予定 ()数字は新学年	
5	金	春季休業日終 前日登校(2・6)	
8	月	始業式 入学式 保健調査票配布(1)	
9	火	定期健康診断始 大森東中学校入学式 保健調査票配布(2~6) 給食始(2~6) 発育測定・視力・聴力(4~6)	

☆3月の避難訓練は、日時の予告なしで行います。

☆4月の詳細な予定は、貴船だより4月号(4/8発行)でご確認ください。

3月
目標

生活目標「学年のまとめをしよう」

保健目標「健康生活のふりかえりをしましょう」

給食目標「楽しく食事をしよう」



6年生の教室から

6年担任 五十嵐 友一 館岡 将之 塩崎 裕也

3月22日(金)の卒業式をもって6年生は、大森第一小学校を旅立ちます。この6年間では、たくさんのことを学びました。勉強はもちろんのこと、友達との関わり方、お世話になった人への感謝の気持ちをもつことなど、これから先、生きていく中で必要なことを、しっかりと身に付けることができました。

今、この6年生は卒業式という「最後の授業」である晴れ舞台に向かって各教室やオープンスペースで練習をしています。

- 大きな声での返事
- 卒業証書の受け取り方
- 姿勢
- 起立・気を付け・礼などの作法

意識しなければいけないことがたくさんあります。

卒業式練習に取り組んでいる子どもたちの表情は、卒業生としての凛々しい表情と、卒業することに対しての寂しさを感じる表情が見られます。様々な気持ちをもって練習に取り組んでいる姿を見ると、担任一同、目頭が熱くなる瞬間がたくさんあります。

この学年は、1年生の時と比べて本当に成長しました。団体行動が苦手だった子が、今では6年生全体を引っ張る子に成長しました。席に座って授業を受けるのが苦手だった子が、今では1年生のお世話を率先して行い、1年生からとても慕われています。友達と関わるのが苦手だった子が、今では毎日、休み時間にいろいろな友達と仲良く遊んでいます。

「6年間で本当に成長しました。」といえませんが、子どもたちには大森第一小学校での一人一人の物語が濃く深く刻まれています。

今年の6年生は、「Story～一人一人の物語～」をテーマに掲げ1年間過ごしてきました。大森第一小学校の自慢の子どもたちです。3月22日(金)に控える卒業式では、どんな凛々しい表情を見せてくれるのか楽しみです。保護者の皆様、地域の皆様、教職員の皆様、長い間、子どもたちに温かいお声掛けをありがとうございました。



教育活動のふりかえり

教務主任 平間 詩乃

今年度も「教育活動 振り返りアンケート」にご協力いただき、ありがとうございました。今年度より、学校公開はじめ、各教育活動に関するアンケートは、電子(QRコード)にてご回答いただく形を取らせていただいております。毎回、速やかなご回答に感謝いたします。操作方法においてご不明なことがありましたら、いつでも学校へお問い合わせください。

さて、今回の結果(別紙参照)では、「学校は、子供たちにとってわかりやすい授業をしている」「学校は、基礎的・基本的な学力の定着に取り組んでいる」「学校は、タブレットPC等のICT機器を活用した教育活動を行っている」の項目において、多くの方に「そう思う」と答えていただきました。タブレットやデジタル教科書を活用した学習が、子どもたちの学習への理解を深めていることが推測されます。さらに、感染症が緩和されて教育活動が通常に戻つつある中で、「学校は、教育活動を理解してもらえるような公開を行っている」の項目の数値が上昇したことは喜ばしいことです。これからも、お子様の活躍の様子をご覧いただけるようにいたします。また、子どもたちは、異学年交流を通して、友達の大切さを学んだり、上級生や友達に憧れの気持ちを抱いたりしています。そのような関わりが、数値にも表れていますし、長い目で見ると、お子様の自己肯定感を高めることにも繋がると考えております。

一方、「児童に、主体的な学習態度が身に付いた」「児童に、学ぶ意欲と学ぶ力が育った」の項目については、昨年度までと同様に数値は好転しませんでした。今後も、教師は子どもたちの興味・関心を大切にしながら授業の工夫に努めます。皆様からいただいた貴重なご意見を、これからの教育活動に反映させてまいります。引き続き、皆様にはご支援いただきながら、保護者の皆様と学校、地域が、共に子どもたちの成長を支えられたらと思います。今年度も、本校の教育活動にご理解とご協力を賜りまして誠にありがとうございました。

今年度の研究報告

研究主任 安江 航平

教員の授業力向上のために、今年度も全学年で研究授業を行い、講師の先生方を招いてご指導いただきました。

<今年度ご指導いただいた先生方>

立正大学 講師 清水 一豊 先生
大田区教育委員会 指導主事 遠藤 健太 様
大田区教育委員会 指導主事 村松 千恵子 様
大田区教育委員会 指導主事 原口 慧史 様

今年度は「よりよい未来を実現するための創造的な資質・能力の育成 ～地域と連携し、自分ごと化できる『おおたの未来づくり科』の単元デザイン～」という研究主題を掲げ、令和7年度から本格実施となる大田区独自の新教科「おおたの未来づくり」について、本校独自のカリキュラムを開発しました。ご指導いただいた外部講師の皆様からは「本格実施の2年前の現段階で、既に学校独自の授業がつくられることを高く評価する」、「地域の特色を生かした授業が考えられている」といった、肯定的な評価をいただきました。次年度も、児童の創造的な資質・能力を伸ばしていけるように指導してまいります。

今年度も本校の研究活動を知っていただきたく、保護者の皆様には「研究だより」を学年ごとに発行しました。児童と共に、教員も学び続けようとする姿が、少しでも伝われば幸いです。